

2025年度 定期総会開催

実施日：2025年6月7日(土)



二松学舎大学 父母会報

平成5年5月10日創刊
令和7年7月31日発行
(第129号)

二松学舎大学父母会
(本部・事務局)
東京都千代田区三番町6番地16
二松学舎大学学生支援課

題字は
故 観山貞広常吉先生書



二〇二五年六月七日(土) 午後一時三十分より、九段一号館中洲記念講堂において、二〇二五年度二松学舎大学父母会定期総会が開催された。

総会に先立ち、二松学舎大学国際政治経済学部の小具龍史教授および小具先生のゼミ生による講演が行われた。

午後二時四十分、矢島佳保里氏の司会により総会が開始され、藤井由紀子父母会長、佐藤晋学長の挨拶の後、都世子恵子議長により議事を進行了た。

第一号議案の二〇二四年度事業報告並びに決算については、審議の結果、原案のとおり承認された。

第二号議案の二〇二五年度役員選出については、新会長に武石智実氏、会計監査に山田則子氏と杉本洋子氏が決定した。

第三号議案の二〇二五年度事業計画ならびに予算については、審議の結果、それぞれ原案のとおり承認された。

議事終了後、二〇二四年度で役員を退任した藤井由紀子氏、丸田綾氏、渡邊昌子氏の三名に佐藤学長から感謝状が贈呈され、本総会は無事に終了した。



※新父母会長より

「共に歩む」

武石智実

いつの間にか季節はすっかり夏になり、学生達も夏休みをむかえる頃でしょうか。会員の皆様には、日頃より父母会の活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

ご縁があり始めた役員活動も四年目を迎え、今年度会長の役を仰せつかりました。思い返すと入学時は、コロナで制限されていた色々な事が通常に戻り始めた頃でした。大学という新しい環境に加え、今まで制限されて経験してこなかった事を、我が子はちゃんとできるのかと心配ばかりしていた気がします。何かできないかと思っていた時にこの父母会の存在を知り、参加を決めました。

自分の頃とは全く違う大学のシステムや、ゼミの話、進路の事。子供から多くの事を聞き、それらひとつひとつの課題にどう対応していけばよいか。家族で対話を重ねて、共にここまで進んでくることが出来たように思います。

父母会の活動においても、コロナ禍で様々な行事等が中止されて

きた為、役員の誰もが未経験となる中、以前のお話や過去の資料を頼りに、手探りながらも、役員一丸となって共にチャレンジする年が過ぎました。

その中で常に念頭にあったのは、「どうすればより学生の為になるのか」ということです。親の世代が良かれと思っている事が本当に求められているものなのか。Z世代という言葉が広く浸透する中で、退職代行や就職留年など、一昔前ではあまり考えられなかった事が当たり前になりつつあります。

求められるものが多様化する時代だからこそ、学生の声に耳を傾け、寄り添い、還元できる活動を心がけ、更には保証人の皆様へもそれらを共有できるような活動をしていきたいと考えております。

ご意見、ご要望など皆様からのお声も是非お聞かせいただければ幸いです。

今後も父母会の活動に温かいご支援を賜りつつ、皆様と共に歩んでまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

※新役員紹介※※※役員に就任して

※菊地 都美（きくち さとみ）

今年度、父母会役員を務めさせていただくことになりました。

入学してから父母会があることを知りました。大学や学生の皆さん、そのご家族のため、父母会は活発に楽しく活動されていることを知り、私も微力ではございますが、そのお手伝いが出来ればと思い、参加することを決めました。

これからよろしく願いいたします。

※小林 圭子（こばやし けいこ）

本年度、父母会役員を務めさせていただくことになりました、国文学科一年生の保護者・小林と申します。

このような機会をいただき、心より感謝申し上げます。

微力ではございますが、学生の皆さんが充実した大学生活を送れるよう、精一杯努めてまいります。

どうぞ宜しくお願いいたします。

※谷 法子（たに のりこ）

本年度、父母会活動に加わる機会に恵まれたことを大変嬉しく思い、感謝しております。精一杯楽しみながら務めさせていただきます。

さて皆様、学内で毎年六月に行われておりますPOP祭は行われましたでしょうか。

このPOP祭は、入場が本学学生の皆様とその保証人様に限られる文化祭で、私も初めて行ってまいりました。学生皆さんの発表はどれも素晴らしい感動の連続で、加えて混雑することなくゆったりと鑑賞出来ました。

素敵な時間を本当にありがとうございました。来年度も楽しみにしております。

是非皆様も来年度、行かれてみては如何でしょうか。このスペシャリティーなPOP祭、おすすめいたします。

2025年度役員一覧

役職	氏名
会長	武石 智実
副会長(学務局長)	須藤 和敬
副会長	宮下 りさ
会計監査	山田 則子
会計監査	杉本 洋子
会計	反町 香理
	小平由紀子
	矢島佳保里
	古木 幸江
	鈴木さやか
広報	北 優子
広報	古根村忠昭
広報	都世子恵子
	菊地 都美
	小林 圭子
	谷 法子

ごあいさつ

未来を拓く教育改革にご理解とご支援を

理事長 水戸英則



父母会の皆様におかれましては、日頃より大変お世話になっております。

本学では、二〇一七年に長期ビジョン「N2030PLAN」を策定し、教職員一丸となって教育・研究の発展に取り組んでまいりました。策定以降、十八歳人口の急減、生成AIの急速な発展、国際競争力の変化など、大学を取り巻く環境は予想をはるかに超えて激変しております。このような状況下、より良い形で計画を推進していくために、本学は現在、長期ビジョン「N2030PLAN」の一部見直しを進めております。

見直しの骨子といたしましては、「学部教育の更なる充実」を基本の柱とし、これに「大学院教育の更な

る充実と国際化推進」の施策を組み合わせる方向で議論を開始しております。

具体的には、①学士課程教育の質向上・変化に対応するために不可欠であるリベラル・アーツ教育の充実や数理・データサイエンス・AIの基礎的リテラシー教育の拡充、②文理融合分野への対応・AI化社会に対応できる人材を育成するための文理融合学部（学科）の創設を検討、③大学院との接続強化・より高度な専門性を持つ人材の育成を目指し大学院との接続を強化、④国際化の推進と地域連携・優秀な留学生の受け入れと大学の国際化を一層推進しながら、近隣地域との連携も深め、地域社会に貢献できる大学を目指します。

ここまでにあげた見直し内容は、現時点では今後の議論の方向性を示す一つの指針であり、継続的にさまざまな角度から検討を深めていくことが必要になります。本学はこれからも、教育研究の「質」の向上を最優先に、社会の変化に柔軟に対応し、未来へ向かって発展し続ける大学を目指し、教職員一同、教育改革に尽力してまいります。

引き続き本学の取り組みにご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

生成AIの発展と学生生活

学長 佐藤 晋



今年も例年にまさる猛暑の夏を迎え、一年生は大学生活最初の試験を終えられたことと思います。

その中では、多くの科目で知識の定着を測るテストが行われたと思います。近年、生成AIが目覚ましい発達を見せる状況で、学生の皆さんの中には知識の定着など記憶力の優劣が意味を持つのかという疑問をお持ちの方もいることでしょう。

しかし、まず我々は、起きて活動している時間のほとんどで、生成AIに頼ることなく、各自が持ち合わせた記憶力を用いて生きています。つまり、記憶力を磨いておくことには明らかなメリットが存在します。また、人間の知的活動において、記憶されている観念と別に記憶されている観念が、何らかの拍子で連結して、新しいアイデアや思想が生み出されてきたこ

とも間違いありません。この点で、自分の頭の中になるべく多くの知識（観念）が併存していることが望ましいと言えます。

それ以上に明白なことは、生成AIは人間の知能の一部を代替するものに過ぎず、同じく人間にとって重要な感情の部分はこれまでと同様、各個人に委ねられているということです。例えば、朝起きて電車に乗って職場に行きパソコンを開かないと生成AIの恩恵を得られないわけです。モチベーションを喚起する、最後まで努力する、失敗しても諦めないといった能力はこれまで以上に重要となつてきます。同じくコミュニケーション能力や協調して行動できる能力など、生成AIによって代替されにくい部分も重要です。人間社会では、知的かつ客観的・合理的の見解だけでは解決できない問題も多く、時には感情をむき出しにして対立するようなケースもあります。それを乗り越える対人スキルなどはAIが代替するのが難しい部分です。またこうした事案が生じたときの調停など、高度かつ複雑な能力を要する仕事が残されていくのは確実です。学生の皆さんには、大学における学修活動に一生懸命に取り組んでいたとき、知的分野と対人能力分野を共々発達させていってもらえたらと考えます。



大学に入学して

文学部国文学科

安部 伶

もう九段坂の坂道を上るのに慣れ、夏つばい暑さが日に日に強くなるころですが、私はまるで昨日のこのように入学式を思い出します。

三月のある日、新入生代表として宣誓をしてほしいとお声をかけていただいたときは喜ばしい気持ちもありましたが、やはり「自分が代表で大丈夫かな？」と緊張や不安でいっぱいだったのを覚えています。リハールの時、信じられないくらい大きい会場に驚きました。そして驚いたのと同時に誇らしくもありました。自分はこのでみんなの代表として恥ずかしいくないように、またこの経験が良い思い出になるようにと、次第に緊張よりも覚悟のほうが強くなりました。そして堂々と本番をやり切った時の達成感は言葉で言い表せないくらいです。

そしてもうその日から四ヶ月も経とうとしています。いま私が思うのは、慣れないことが多くても「時は待ってくれない」ということです。どうしていいのかわからなくなったり、授業が難しいと感じた時、自分から行動を起こさなくては何も変わらないのが大学生。そのような気がしています。

「今を後悔しないように自分のできることを精一杯やる!」。そんな大学生活を送りたいです。



文学部歴史文化学科

大曾根 蒼 仁

二松学舎に入学して、はや四カ月が経過した。三島中洲先生の教えを引き継ぎ今も変わることなく千代田区三番町、九段という恵まれた立地のもとで学問を追求できることにこの上ない幸福を感じている。

過去の大戦では本学から多くの学生が学徒出陣で大東亜の戦地に赴き、家族のため、日本のため、其々が身に秘めた思いをもつて散華した。今この地で学べるのは決して当たり前ではなく、過去の先人たちの苦労や災難あつての今であるため私たちは奉慰継承を忘れてはならない。戦争に出征することなく生きて、二松学舎で青春を送るはずであつた先輩たちの分まで学び、全力で学生生活をしようと思う。これから先の大学生活で分らないことや心配なこともあるかもしれないが、不安になることはない。なぜなら靖國と千鳥ヶ淵に眠る英霊たちは私たちをいつも見守ってくれているからだ。

国会図書館や昭和館、神保町古書店街、遊就館など其々から学びを深められる施設に恵まれた二松学舎の地で学びを始めた同志たちと共に精進し、歩みを止めることなく更なる人間形成、学問の追求に励んでいきたい。

大学に入学して

国際政治経済学部国際政治経済学科

田 中 遥 陽

私は地方から上京して、新生活と同時に大学生生活が始まった。

九段下駅を降りると多くの桜が満開に咲いていて、観光客は桜を見て楽しんでいたり、武道館で様々な大学の入学式が行われていたりして新生活の幕開けをひしひしと感じた。最初の一月は目まぐるしかった。

曜日によって授業の開始時間なども変わるので、自分でしっかり時間管理をするということが求められた。大学の学食で食べながら大学生になった実感が湧いてきて周りを見渡してひっそりと笑ったりもした。

時間の流れは早く、入学してからおよそ四カ月が経った。満開に咲いていた桜は惜しげもなく大胆に散り、緑の木々に変化した。

もうすぐ春学期が終わろうとしている。何気ない毎日を送っていたらきつとなんとなく大学生活の四年間が終わってしまうと思った。

人生の夏休みと言われている大学生活。どう過ごすのも自分の勝手だが、せっかくなから充実した物にした。もうすぐテストが始まるのでまずはそこを目標に定めて、頑張ろうと思う。周りを見れば私より必死に勉強に励んでいる人がある。彼らもきっと私と同じ気持ちでいるのではないかと思った。

新入生歓迎式典 2025

実施日：2025年4月5日(土)



国際政治経済学部国際政治経済学科三年

田嶋 詩穂

新入生歓迎式典2025(以下、新歓)の責任者を務めさせていただき、学生会執行委員会会長の田嶋と申します。さて、今年のコンセプトは、「暖かい春の気候のように新入生を迎え入れ、心地よく一年のスタートを切ろう。」を掲げ、テーマを「陽春(ようしゅん)」と決めました。幸いに、今年は、前年のようにコロナ禍の影響を受けることなく開催することが出来ました。学生会執行委員会では、前年度の反省点を生かしつつ、活気を促すためにどのように運営していくかについて新歓を盛り上げるための施策のひとつとして、各参加団体のアピールポイントを、パンフレット(『一期一会』)に掲載しました。さらに、大学と協力し、今年度から新しいシステムとして導入されたスマートフォンアプリ「キャンパスライフ」の機

新入生歓迎式典2025

能を使って、学内でスタンパリーを行いました。これに参加して完走してくれた新入生には、参加記念のグッズを配布しました。そして、来場した新入生の方には全員に「新歓オリジナルハイチュウ」を配布しました。また春学期の授業が始まる前の土曜日でしたので、どれ位の新入生が来場してくれるのか不安はありましたが、多くの新入生が集まってくれて、新しい大学生活が始まるきっかけとなったことを嬉しく思いました。

新歓を運営して多くの反省点はありましたが、運営していく中で、自分も含め、学生会執行委員会の各役員の成長を感じ取ることができ、また、みんな笑顔で新入生に対応できたことで、コンセプトとテーマに見合った活動ができた実感しています。

今年の六月には「九段祭POP」が開催され、十一月には「創縁祭2025」が開催される予定です。この二つの行事では、新規役員も加わり、新しい学生会執行委員会並びに学園祭実行委員会として動くことになります。新しい役員達と一緒に力を合わせて今後の行事を運営してまいります。各行事を成功させるためには、我々委員会のメンバーだけではなく、先生方や学生一人ひとりの協力が必要となりますので、これからもご支援の程、よろしくお願い致します。

POP 2025

実施日：2025年6月15日(日)



文学部国文学科三年

荒井 菜那

九段祭POP2025責任者を務めさせていただきました。文学部国文学科三年の荒井と申します。今年度も文化団体が日頃の活動の成果を発表する学内向けの文化祭として六月十五日(日)に学生会執行委員会が主催となり、九段祭POP2025を九段キャンパスにて開催いたしました。「紫雲(しうん)」というテーマ、「めでたいしるしとされる雲。空へ向かつてあの日願ったことを覚えているだろうか。神秘的な情景から思い起こされる慈愛をもつて世界を見て、希望の世界への一歩を踏み出そう。」というコンセプトを掲げ、今年度の九段祭POPに携わる皆様が存分に楽しめるような行事にしたいと役員一同準備を進めてまいりました。

今年度も多くの団体に参加していただき、どの団体も当日に最高の発

POP2025

表が行えるように準備している様子が見受けられました。我々学生会執行委員会も新たに一年生が入会し新体制で一丸となり、満足のいく発表が行えるよう協力させていただきました。また、教室や中洲記念講堂での発表は団体・来場者という垣根を越え双方が楽しむことができたのではないかと存じます。学生会執行委員会では毎年恒例となっていたビンゴ大会と参加していただいた方が形式や難易度によって楽しめるように「誰でも解けますよね?クイズ!」「二松王」という二つのクイズ企画を準備いたしました。来年度以降への課題が見受けられはしたもののどの企画も来場者の皆様の思いのひとつになれていれば幸いです。

今年度は梅雨時期の開催であったため、あいにくの天候でしたが昨年よりも多くの来場者の皆様にお越しいただけました。参加していただいた団体の皆様、九段祭POP2025に足をお運びくださった皆様のご尽力のおかげで今年度も無事九段祭POPを開催することができました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。来年度以降も役員一同団結してより多くの来場者の皆様に満足していただけるような九段祭POPを目標に精進していきたいと存じます。今後とも学生会執行委員会を何卒よろしく願いたします。

●三年次生全員対象個人面談について

キャリアセンターでは、学生一人ひとりの希望に沿った支援を行うべく、「個の支援」に力を入れています。その一つが、三年次生対象の『全員個人面談』です。全学生をキャリアセンター職員が個別で面談し、卒業後の進路についてヒアリングしながら、その後の支援に繋げていきます。

年に一度、秋学期に行っていたこの個人面談ですが、希望する進路に向けて少しでも早く行動を起こしてほしい、「一度面談をして終わり」ではなく、その後のフォローアップにも力を入れたい、という想いから、四年前から春学期と秋学期の二回行うようになりました。春にお会いした時には進路について漠然としたイメージしか持っていなかった学生さんが、面談を機に自分なりに考えて行動し、秋にはより具体的に将来について話してくれるようになっていくことも多々あります。

面談を機に家族で進路について話し始めた、という声も多く

ア
ー
リ
タ
リ
79
ヤ
ン
よ
キ
セ
だ

聞きます。ぜひご父母の皆さまからも個人面談を受けたかどうか、お声がけしていただけますと幸いです。

●四年次生のサポートについて

六月に入り、四年次生から就職内定の報告が届くようになりました。就職に限らず進路が決まった際は、必ずキャリアセンターに報告をするようお願いください。

進路が未定の場合も、やはりキャリアセンターへの来室を促していただきたいと思っています。キャリアセンターには連日「二松学舎大学の学生を採用したい」という企業の採用担当者からの連絡が途絶えません。特に卒業生が在籍している企業は、その活躍ぶりから本学の学生を高く評価しており、「ぜひその後輩を！」と特別に声をかけてくださいます。

卒業生が在籍していない企業でも、求人内容はキャリアセンターで精査した上で紹介をしています。現在のご状況やご希望をヒアリングしながら、納得のいく進路選択に向けてサポートして参ります。

長いお休みが始まるうとしていきます。高校までの長期休みは宿題や部活に追われていた人も多いですが、大学生の長期休みはこれまでよりも自由に過ごすことができます。貴重な時間です。ですが、自由な時間を過ごすというのは案外難しいものです。ある程度決められた生活をこなすほうが楽に感じることさえあります。夏休み明けに

つてしんどくなってしまう場合があります。そのような人は、完全に「電源オフ」にせずにある程度コンスタントに稼働させ続ける工夫ができると、適度に休息もしつつ休み明けの復帰も楽になります。大学生になってはじめて自由に過ごせるお休みを手にする学生さんも多く、どう過ごせばよいのかと自由だからこそ出てくる悩みを耳にします。大学

学 生 相 談 室
だ よ り 129

カウンセラー 小野田奈穂

生の間に、自分に合った上手な休み方をじっくり模索してつかんでおくことは、今後社会に出て多忙な日々を送る際の支えになるだろうと思います。

お子さんにとっての心地よい休み方が、ご家族のスタイルとは全く違い、もっと

時間の過ごし方が明確にあるわけではないので、一人ひとりが自分に合った時間の使い方を見つけていく必要があります。

一度完全に「電源オフ」の状態にしてとことん休んだほうがしっかりと休息できるタイプの人もいますが、人によっては休み明けに再び「電源オン」にするのがかえ

こうしたらよいのにとまどかしく感じられることもあるかもしれません。相談室では、お子さん自身からの相談はもちろんですが、ご家族からの相談もお待ちしています。お子さんをどうサポートしていくことができそうか一緒に考えていけたらと思っています。

2024年度事業報告並びに決算

Ⅰ 2024年度事業報告

概要

2024年度二松学舎大学父母会の会員数は、2024年度入学者文学部522名・国際政治経済学部295名計817名、文学部・国際政治経済学部編入学生（3年次生）13名を新たに会員として迎え、2024年5月1日現在3,150名である。

2024年度は予算総額50,310,623円（前年度からの繰り越し金を含む）で、2024年6月4日（土）に行われた定期総会で承認された事業計画に基づき諸事業を推進してきた。

以下にその事業の概要を記載する。

1. 【地区別父母懇談会】

2024年度の地区別父母懇談会は、6月29日（土）に静岡県静岡市（アソシア静岡）、7月6日（土）に栃木県宇都宮市（TKP宇都宮カンファレンスセンター）、8月3日（土）に九段校舎（中洲記念講堂）において開催した（九段校舎のみ、オンライン併用）。また、希望者による教職員との個別相談も実施した。

大学からは学長、副学長、文学部長、国際政治経済学部長、学務局長、文学部・国際政治経済学部各教員はじめ学務局（学生支援課・教務課及びキャリアセンター）の職員が出席し、懇談を通して大学教職員と会員（父母）との相互理解を図ると同時に、大学の現状、学生の大学生活及び就職の実情、単位修得等勉学の状況及び父母会の活動について説明を行った。

2. 【教育研究振興助成】

2024年度のエデュケーション振興助成は、2024年8月と2025年2月に実施した海外語学研修（8月：韓国・アメリカ、2月：韓国・臺灣・マレーシア・オーストラリア）の職員の引率に対し、旅費の一部を助成した。

他に、「ES実践講座」・「日本語検定」・「SPIテストセンター対策講座」等への助成、新入生教育助成として『学生生活スタートブック』の冊子を購入し配布した。

3. 【課外活動助成】

書道部に会場借費用・ポスター印刷費、狂言研究会にポスター印刷費、劇団こんにはシアターに会場借費用・ポスター印刷費の助成を行った。

学生顕彰として、13名の学生・2つの団体に奨励金を支給した。助成は、「課外活動団体助成費取扱要領」及び「学生顕彰取扱要領」に基づき、実施している。

4. 【大学行事等への助成】

4月に開催した新入生歓迎式典に際し、新入生への来場記念品としてスマホスタンドを学生会執行委員会が配布し、その費用を助成した。

また創縁祭では、学園祭実行委員会からの援助願に基づき、費用の一部を助成した。

5. 【卒業記念パーティー】

2025年3月17日（月）に東京ドームホテル地下1階「天空」で実施した。

6. 【卒業記念品】

卒業記念品として卒業アルバムを贈呈した。

7. 【奨学金】

学生の資格・能力取得育英を目的に、指定した資格取得や教員・公務員等各種採用試験合格者等56名に対して奨学金を支給した。

8. 【弔慰金・災害見舞金】

2024年度の弔慰金・災害見舞金については、学生及び会員（父母）5件に対し行った。「父母会弔慰金並びに災害見舞金取扱要領」に基づいて実施している。

9. 【父母会報の発行】

2024年度は、第125号（2024年7月31日）、第126号（2024年10月20日）、第127号（2025年1月20日）、第128号（2025年3月31日）の計4回発行した。

10. 【外国人留学生支援に関する助成】

2024年11月4日（月・振）に外国人留学生との懇親会を開催した。

【特別事業費】

1. 〈営繕助成等〉

観葉植物設備（九段1号館・3号館・4号館のエントランスや共用スペースに配置及び手入れ）補助・大学施設の補修等に対する助成をした。

2. 〈就職指導支援費〉

キャリアセンターの就職支援活動に対して助成した。

3. 【事業積立金】

事業積立金は、法人・大学の記念事業推進に協力するため、1993年度より特別会計として積み立てを開始し、周年事業等に予算執行してきた。

4. 【創縁祭参加費】

創縁祭の参加経費。2024年度は父母会運営の無料喫茶室を出し、その費用として支出した。

6. 【食育に関する助成費】

2024年度は学生応援ランチおよび学生応援弁当販売による食育活動を実施し、そのうち学生応援弁当について、松苓会との共同で、その費用の一部を助成した。

【予備費】

今年度は、附属高等学校野球部の春のセンバツ大会出場に伴う寄付として支出した。

○ 〈学生金庫基金〉

現金が緊急に必要なとなる学生のために、1回につき1万円を無利子で貸し出し（貸し出し期限1カ月）便宜を図っている。

○ 〈特別会計 事業積立金〉

父母会として二松学舎創立150周年事業にむけて、事業積立を行った。

収入の部

（単位：円）

項 目	予算額①	決算額②	比較増減①-②	記 事
1 繰越金	16,869,623	16,869,623	0	前年度繰越金
2 父母会費	32,940,000	32,940,000	0	新入学生4万円×（文学部522名+政経学部295名） 編入学生2万円×（文学部6名+政経学部7名）
3 助成費	500,000	500,000	0	大学からの卒業パーティー助成
4 雑収入	1,000	948,824	△ 947,824	受取利息、卒業記念パーティー会場費返金、祝金
合 計	50,310,623	51,258,447		

支出の部

項 目		予算額①	決算額②	比較増減①-②	記 事	
経 費	事業費	1 地区別懇談会費	3,300,000	2,244,938	1,055,062	運営費用（ライブ配信、オンライン個別相談会）他
		教育研究振興助成				
		教員の海外研修助成費	600,000	600,000	0	教員2名の海外研修への助成
		海外研修引率者助成費	500,000	500,000	0	海外語学研修学生引率教員の旅費の一部助成
		就職指導支援経費	1,000,000	497,730	502,270	SPI、ES対策講座等キャリアセンターの就職指導助成
		新入生教育助成費	200,000	124,800	75,200	「学生生活スタートブック」購入経費
		小 計	2,300,000	1,722,530	577,470	
		課外活動助成				
		課外活動活性化助成費	500,000	500,000	0	課外活動実施に伴う経費の一部助成
		課外活動団体助成費	500,000	120,860	379,140	学外発表会等を実施した団体への助成
	学生顕彰費	400,000	71,000	329,000	個人・団体の大会優勝者など大学で推薦する者への表彰費用助成	
	小 計	1,400,000	691,860	708,140		
	常 費	4 大学行事等への助成費	1,200,000	1,107,500	92,500	新歓式典・学園祭など大学行事・学生会主催行事への助成
		卒業記念パーティー	10,500,000	9,244,037	1,255,963	卒業パーティー運営経費
		卒業記念品	4,000,000	4,040,190	△ 40,190	卒業アルバム作成経費
		奨学金	5,500,000	4,310,000	1,190,000	成長支援型（資格・能力取得育英）奨学金
		慶弔費・災害見舞金	200,000	58,557	141,443	学生・父母及び専任教員の死亡に対する供花料及び災害見舞金
		会報発行				
		印刷・制作費	1,000,000	941,020	58,980	父母会報年4回発行、124～127号
		発 送 費	1,400,000	1,606,590	△ 206,590	会報発送 124～127号
		小 計	2,400,000	2,547,610	△ 147,610	
10 外国人留学生支援に関する助成費		300,000	300,000	0	外国人留学生の学習活動等への支援	
事業費合計	31,100,000	26,267,222	4,832,778			
運営費	11 通信費	700,000	605,995	94,005	総会資料等発送費、はがき・切手等	
	12 印刷費	700,000	703,340	△ 3,340	定期総会資料の印刷・製本、返信はがき・封筒等の印刷費	
	13 会議費	700,000	643,219	56,781	定期総会・役員会等	
	14 交通費	380,000	177,030	202,970	役員会等へ出席する役員の交通費	
	15 消耗品費	100,000	30,893	69,107	事務用品等購入経費	
	16 雑 費	120,000	105,924	14,076	振込手数料、その他	
	運営費合計	2,700,000	2,266,401	433,599		
特別事業費	1 営繕助成費	300,000	300,000	0	施設の緊急を要する補修及び観葉植物設置補助等	
	2 就職指導支援経費	2,500,000	1,739,650	760,350	キャリアセンターの就職指導（キャリアカウンセラー等委託費）助成	
	3 事業積立金	2,000,000	2,000,000	0	大学における特別事業への支援のための積立	
	4 創縁祭参加経費	410,000	279,127	130,873	創縁祭参加関連、喫茶室運営経費	
	5 食育に関する助成費	972,000	918,000	54,000	学生応援弁当 270円×3,400食分	
予 備 費		10,328,623	600,000	9,728,623	附属高校甲子園出場お祝い寄付	
合 計		50,310,623	34,370,400	15,940,223		
差引残高（次期繰越金）		0	16,888,047	－		

2025年度事業計画並びに予算の概要

【経常費】

1. 〈地区別父母懇談会〉

2025年度の地区別父母懇談会は、8月頃に九段キャンパス中洲記念講堂にて、懇談会を実施する。地方での開催も実施する予定（候補地：茨城県水戸市、群馬県高崎市）。

内 容

- ・大学の現況報告
- ・学生生活・学習状況・就職状況についての説明
- ・個別相談等
- ・その他

2. 〈教育研究振興助成〉

- (1) 教員の海外研修に対する助成
教員の海外研修旅費の一部を助成する。

- (2) 海外研修学生引率者助成

2025年度も中国語圏・英語圏・韓国語圏での語学研修が予定されているので、その旅費の一部を助成する。

- (3) 就職指導支援経費

キャリアセンターが行う学生の就職活動支援事業に助成する。今年度は、「SPI対策講座」「日本語検定」「就職筆記対策」「就職活動中の支援」等の経費を助成する。

- (4) 新入生教育助成

大学で発行している学生生活の手引『キャンパスライフ』を補完するものとして、『学生生活スタートブック「学生生活は危険がいっぱい2025年度版」』（電子ブック）を購入し、新入生全員にURLやQRコードにより配布する。

3. 〈課外活動助成〉

学生のクラブ・サークル等課外活動の実施に伴う経費の一部を助成する。

- (1) 課外活動活性化助成

課外活動団体の練習時間の延長、及び休日に行う対外試合等によるスクールバスの運行等経費の一部を助成する。

- (2) 課外活動団体助成

クラブ・サークル等課外活動団体の活動費（全国大会出場経費の一部、学外発表会経費の一部等）を「課外活動団体助成費取扱い要領（内規）」に従い、助成する。

- (3) 学生顕彰

ボランティア活動等の社会活動、国際交流、部活動で特に顕著な業績が認められる団体並びに個人を表彰するとともに奨励金を支給する。

4. 〈大学行事等への助成〉

学生団体が主催する「新入生歓迎式典」「学園祭（創縁祭）」等に経費の一部を助成し、学生活動の活性化を図る。

5. 〈卒業記念パーティー〉

2025年度卒業記念パーティーを開催する。

6. 〈卒業記念品〉

卒業記念品として卒業アルバムを卒業生全員に贈呈する。

7. 〈奨学金〉

下記の奨学金を給付する。

二松学舎大学父母会成長支援型（資格・能力取得育英）奨学金

【対 象】 奨学金の受給資格は、本学の正規課程に在籍する学部生とし、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 公立学校教員採用試験合格者
- (2) 公務員試験合格者
- (3) 父母会が指定した資格の取得者

【給 付 額】 3万円～15万円（取得した資格や合格した試験に応じて）

【対象学年】 1～4年次

【申請時期】 当該年度11月

【他制度併用の可・不可】 可

8. 〈弔慰金・災害見舞金〉

「父母会弔慰金並びに災害見舞金取扱い要領（内規）」に従い、会員（父母等保証人）・学生・専任教職員の死亡に対し弔慰金または供花をもって弔意を表す。さらに、火災や自然災害等で学生の自宅やアパート等が被災した場合は、災害の軽重に応じて見舞金を支給する。

9. 〈父母会報の発行〉

大学・父母会の現状、学生生活の状況を会員に伝えるための機関紙「父母会報」を、年間4回発行する。

10. 〈外国人留学生支援に関する助成〉

外国人留学生の支援に関する活動は、1999年度から父母会事業の一環として位置づけ実施している。具体的には、留学生との交流・親睦を図ることを目的とした研修旅行（日本文化探訪プログラム）や、親睦会費用の一部を助成する。

【特別事業費】

1. 〈営繕助成等〉

学生食堂等に観葉植物を設置する。校舎等における緊急を要する補修等に助成する。

2. 〈就職指導支援経費〉

キャリアセンターが行う学生の就職活動支援事業に助成する。

3. 〈事業積立金〉

事業積立金は、法人・大学の記念事業推進に協力するため、1993年度より特別会計として積み立てを始め、周年事業等に予算執行を行ってきた。2025年度は、200万円を計上する。

4. 〈創縁祭参加に伴う経費〉

2016年度から「100円朝食」に父母会として無料喫茶ルームを運営するため、コーヒー、紅茶及び茶菓等購入費用を計上する。

5. 〈食育に関する助成費〉

2016年度から「100円朝食」、2021年度から「学生応援ランチ」に助成しており、2022年度からは「学生応援弁当」に助成を行い、2023年度も同様に実施した。2025年度も引き続き「学生応援弁当（270円／食）」の助成を行う。

【予備費】

1. 九段キャンパス3号館・4号館プリンター設置

九段1号館に2024年度から、学生証で印刷ができる「二松プリントシステム」を導入したが、3号館と4号館には未設置であった為、父母会より助成し、各号館に1台ずつの計2台を設置する（2025年4月より稼働）。

2. 女子学生の衛生環境向上システム「トレルナ」設置

指定の女性用トイレ個室に、女子学生の衛生環境向上に資する為、生理用品の無償給付システム「トレルナ」を設置し、その設置費用等を助成する（2025年6月より稼働予定）。

◇ 〈学生金庫基金〉

現金が緊急に必要なとなった学生のために、1回につき1万円を無利子で貸し出し（貸し出し期限1ヵ月）便宜を図っている。本年度もこの制度を継続する。

収入の部 (単位：円)

項 目	予算額	記 事
1 繰 越 金	16,888,047	
2 父 母 会 費	32,460,000	新入生4万円×807名（文514名+政293名） 編入生2万円×9名（文8名+政1名）
3 助 成 費	500,000	大学からの卒業パーティ助成
4 雑 収 入	1,000	受取利息、その他
合 計	49,849,047	

支出の部 (単位：円)

項 目	予算額	記 事
1 地区別懇談会費	3,300,000	会場費、教職員出張費、オンライン個別相談運営委託費等
教育研究振興助成		
教員の海外研修助成費	600,000	教員2名の海外研修への助成
海外研修引率者助成費	500,000	海外語学研修学生引率教員の旅費の一部助成
就職指導支援経費	500,000	SPI・ES対策講座等キャリアセンターの就職指導助成
新入生教育助成費	200,000	「学生生活ハンドブック」購入経費
小 計	1,800,000	
課外活動助成		
課外活動活性化助成費	500,000	課外活動実施に伴う経費の一部助成
課外活動団体助成費	300,000	課外活動団体への助成・全国大会出場助成・学外発表会助成等
学生顕彰費	100,000	個人・団体の大会優勝者など大学で推薦する者への表彰費用助成
小 計	900,000	
大学行事等への助成費	1,200,000	新歓式典・学園祭など大学行事・学生会主催行事への助成
卒業記念パーティー	10,000,000	卒業記念パーティー運営にかかる経費
卒業記念品	4,200,000	卒業アルバム作成経費等
奨 学 金	5,500,000	父母会「成長支援型（資格・能力取得育英）奨学金」
慶弔費・災害見舞金	200,000	学生・父母及び専任教職員の死亡に対する香典及び災害見舞金等
会報発行		
印刷・制作費	1,200,000	父母会報年4回発行、128～131号
発送費	1,600,000	父母会報発送 128～131号
小 計	2,800,000	
外国人留学生支援に関する助成費	300,000	外国人留学生の学習活動等への支援
事業費合計	30,200,000	
通 信 費	700,000	定期総会資料等発送費、はがき・切手等
印 刷 費	700,000	定期総会資料の印刷・製本、返信はがき・封筒等の印刷費
会 議 費	700,000	定期総会・役員会等
交 通 費	380,000	役員会等へ出席する役員の交通費
消耗品費	50,000	事務用品等購入経費
雑費	120,000	振込手数料、その他
運営費合計	2,650,000	
営繕助成費	300,000	学生施設の緊急を要する補修等及び観葉植物設置補助
就職指導支援経費	3,000,000	キャリアセンターの就職指導〈キャリアカウンセラー等委託費〉助成
事業積立金	2,000,000	大学における特別事業への支援のための積立
創縁祭参加経費	410,000	創縁祭参加にかかる行事運営経費等
食育に関する助成費	972,000	学生応援弁当の助成
予備費	10,317,047	学生サービス向上のためのシステム導入費、物価変動など不測事態対応等
合 計	49,849,047	

2025年度 二松学舎大学父母会定期総会議事録

日 時：2025年 6月 7日(土) 13:30～15:50

会 場：九段1号館地下2階 中洲記念講堂

講 演：小具龍史ゼミナールの学生達によるプレゼンテーション

「理想郷で送る優雅な“アクティブシニア”ライフ～箱根小涌園 天郷～」

(ビジネスアイデアコンテスト最優秀賞受賞)

小具 龍史 ゼミ ゼミ生(4名)

会員数：本年度会員数 3,227名

出席者：委任状 1,035名

出席者 46名 合計 1,081名

大学側：佐藤晋学長、押野洋副学長、五月女肇志文学部長、
高岸直樹国際政治経済学部長、須藤和敬学務局長、中原敬二教学事務部長、
三島学生支援課長、井上学生支援課員、菊地学生支援課員

1. 開会の辞 司会 矢島 佳保里 氏

司会者から「本日総会時の会員数は、3,227名であり、父母会会則第9条により委任状を含めて5分の1(646名)以上の出席が必要であること、本日の出席者は46名、委任状は1,035名、合計1,081名であることから本日の総会は成立する旨の説明があった。

続いて、藤井 由紀子 父母会長、佐藤 晋 学長からそれぞれ挨拶があった。

2. 議長指名

司会者から、総会の議長は父母会運営細則により、会長または会長の指名する者となっており、会長から都世子 恵子 氏が指名されているので、都世子議長のもとで議事を進行させたい旨の説明があり、承認された。

3. 書記・議事録署名人指名

都世子議長が書記及び議事録署名人として次の各氏を指名した。

書 記 北 優子 氏

議事録署名人 反町 香理 氏、古木 幸江 氏

4. 議 事

◇第Ⅰ号議案〈2024年度事業報告並びに決算〉

藤井 由紀子 会長から、議案書に基づき概要説明があった。続いて、矢島 佳保里 会計監査・古木 幸江 会計監査担当役員から監査報告が行われた。審議の結果、原案のとおり承認された。

◇第Ⅱ号議案〈2025年度役員選出〉

都世子議長から、会則第6条・9条及び父母会運営細則第3条に基づき、総会において役員(会長・会計監査)を選出することとなっているとの説明があった。

都世子議長から大学側に候補者の氏名を発表してもらうのが慣例との説明があり、大学側(須藤和敬学務局長)から議案書の通り次の各氏が推薦された。

新 会 長 武石 智実 氏

新会計監査 山田 則子 氏、杉本 洋子 氏

都世子議長が大学側から推薦された各氏について出席の会員に諮ったところ異議なく承認された。

続いて武石新会長より就任の挨拶があった。

◇第Ⅲ号議案〈2025年度事業計画並びに予算〉

武石新会長から、議案書に基づき概要説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

議事終了後、下記の退任役員へ佐藤学長から感謝状が贈呈された。

藤井 由紀子 氏、丸田 綾 氏、渡邊 昌子 氏

5. 閉会の辞 司会 矢島 佳保里 氏

閉会後に、中洲記念講堂内で、意見交換の場を設けた。

2025年 6月 7日

議 長 都世子 恵子 ⑩

議事録署名人 反町 香理 ⑩

議事録署名人 古木 幸江 ⑩

書 記 北 優子 ⑩



学生による講演が行われました！



表紙で記載の父母会定期総会では、今年度新たな試みとして、学生による講演が行われました。例年は本学の教員による講演会を実施していましたが、国際政治経済学部の小具先生のゼミ学部生四名が、「ビジネスアイデアコンテスト」に出場し、見事に第一位「最優秀賞」を受賞したことから、あらためて当時の発表内容を披露してもらい、来場された父母等保証人の方々から、大きな拍手をいただきました。学生の活躍を父母の方々にお伝えできる場はあまりない為、良い機会になったことと思います。

「安否確認サービス」の運用に伴う登録について（お願い）

2024年元旦に発生した能登半島地震をはじめ、近年全国各地で地震が多発しています。

地震以外にも、その他広域災害に備え、学生と大学との連絡手段として、セコムトラストシステムズ株式会社が提供する「安否確認サービス」を導入しており、学生の皆様には必ず初期登録をして頂くようにお願いしています。災害の大きさ等に応じて、頂いた安否報告の内容を参考に、災害時給付金やお見舞金等のご案内をする予定です。お子様にご登録の状況についてご確認頂き、登録がまだお済みでないようでしたら、ぜひ速やかに登録手続きを行うよう、お話し頂けますと幸いです。

1. サービス概要（右図参照）

2. 対象者

大学、大学院生（本科生）

3. 登録（連絡）方法

※方法はポータルサイトNishoUNIPAに掲載中です。

LINE連携登録、専用アプリ、メールアドレスの3つの登録方法がありますが、通信障害に備え、出来るだけ2つ以上の登録をお願いしております。

※「安否確認サービス」は個人所有のメールアドレスを利用いたしますので、大学で手続き代行を行うことが出来ません。個人情報（メールアドレス等）の登録、管理は必ず各自で行ってください。

4. お問い合わせ窓口

二松学舎大学 学生支援課

TEL：03-3261-7427

E-mail：gakusei@nishogakusha-u.ac.jp



編集後記

『父母会報』第一二九号お読み頂きありがとうございます。

暑さの厳しい折、皆様いかがお過ごしでしょうか。平素は父母会活動にご協力頂き、ありがとうございます。

六月に二〇二五年度父母会定期総会が開催され、新役員体制が整いました。心機一転、新たなメンバーで活動を継続いたします。

ところで今年は大阪・関西万博が開催され、世界からも注目を集めて賑わっています。現在、万博内で展示中の漱石アンドロイドは本学所有のものですが、昨年の学園祭ではその姿を間近で見ることができました。

大阪・関西万博のコンセプトは展示を見るだけでなく、未来社会を『共創』する空間を創り出すこととなっています。万博だけではなくこれからの未来は、多くの人々がより学び『共創』へ活かしていくのでしょうか。

保証人の皆様、今後とも父母会へのご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。